

交通事故防止

特に、追突事故に注意

当別のタンクローリーの事故

平成30年2月13日(火)、石狩郡当別町ビトエの国道337号上で、信号待ち中の軽乗用車に大型タンクローリー車が追突して、軽乗用車は、前方に停車中のタンクローリー車との間に挟まり、軽乗用車に乗車していた男女2人が死亡した事故は記憶に新しいところでもあります。

過去には、2008年8月首都高速道路のジャンクションの急カーブを曲がり切れずタンクローリー車が横転、側壁に衝突し、積荷のガソリンが漏れて5時間半以上にわたり炎上した事故が発生し、運輸会社に数十億の支払い命令が出された事例もありました。

～事故防止ポイント～

1 一般道路走行時の事故防止

① 交差点通過時の注意点

歩行者・自転車が前後左右から集中するので、特に慎重に「確認運転」を励行し右左折は、速度を落としゆっくり走行してください。

② 下り坂・カーブ走行時の注意点

必ず減速し、エンジンブレーキ、排気ブレーキを使用、車間距離をできるだけ長くとってください。

③ 山道・路肩通過時の注意点

崖・山等による死角に注意し、対向車のセンターラインオーバーにも配意、常に車が道路縁石と並行になるように走行してください。

④ 雪道・凍結路走行時の注意点

通常の運転よりも一段ギヤシフトを下げ、速度のコントロールはエンジンブレーキを主体に行ってください。

2 高速道路走行時の事故防止

① 速度の出し過ぎ、横転に注意

高速走行は、視野が狭くなり、動体視力も低下するので速度の出し過ぎに注意し、ジャンクションの急カーブは特に注意してください。スピードメーターで必ず確認し、遠心力による横転に十分注意してください。

② 追従不適、追突に注意

車間距離は4秒間以上必要であり、できるだけ長くとってください。雨天時は、乾燥時の1.5倍以上とってください。

③ 雨天時に急ブレーキ・急ハンドルによるスリップに注意

大雨や轍(わだち)の水たまりでは、ハイドロプレーニング現象に注意してください。

ハイドロプレーニング現象が起きたら、ブレーキやハンドルに頼らず、ギヤシフトダウンで速度を落としてください。